

「なんのためのお仏壇か」

柴間 隆文

あるとき、御門徒さんからこんなご相談がありました。

「知り合いが最近お仏壇を買ったのですが、まだその家は誰も亡くなっていないのです。そういうことは縁起が良くないと聞きますが、大丈夫でしょうか」と。それで私は、「お仏壇は、亡くなった方をお祀りするものではなく、阿弥陀如来をご安置する所ですから素晴らしいことじゃないですか」とお答えしましたら、「えっ、そうなんですか。」と大変驚かれています。そのあと色々とお話しさせていただきましたら、その方は納得された様子で、「ご先祖様はそこに入れさせていただいているだけだったのですね。安心しました」と言っておられました。

世間には、お仏壇は亡くなった方をお祀りするものだと考えている方がおられるようですが、そうではなく、基本は阿弥陀如来をご安置するものです。阿弥陀如来は、生きている私達を人生の様々な苦しみや悩みから救おうとしている仏様です。ですから、自分が死んでしまってからお仏壇を買って置いては遅いのです。

人生が自分の思い描いた通りになるのなら、誰も苦しむことはありませんし、阿弥陀如来も必要無いでしょう。しかし、そうではないから人は苦しみ、悩み、そして阿弥陀如来という存在があるのでしょう。その阿弥陀如来に出会うこともなく、思い通りにならない人生を自分の力で何とかしようとして生きていく人生は、苦しみを苦しみとしてしか受け取れない、まさしく苦しみの連続です。ですから、一日も早く阿弥陀如来に出会うことが、私達が空しくない人生を生きていくための唯一の道なのです。お仏壇はそのためにあるのです。